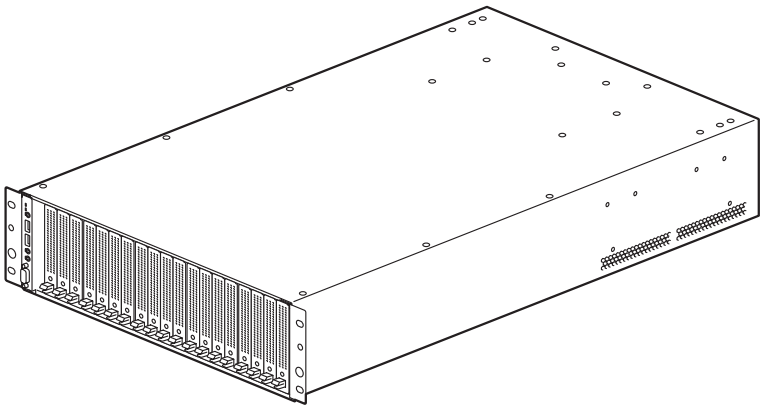
NEC



# N8405-015
## ブレード収納ユニット
# ユーザーズガイド

856-124526-001-01
2005年　2月　第2版

# 目　次


⚠ 使用上のご注意　- 必ずお読みください - .... 3
安全にかかわる表示について ..... 3
本書および警告ラベルで
使用する記号とその内容 ..... 4
安全上のご注意 ..... 5
一般的な注意事項 ..... 5
ラックの設置・取り扱いに
関する注意事項 ..... 6
電源・電源コードに関する注意事項 .... 7
ブレード収納ユニットの設置・
移動・保管・接続に関する注意事項 .... 8
お手入れ・内蔵機器の取り扱いに
関する注意事項 ..... 9
運用中の注意事項 ..... 10
警告ラベルについて ..... 11
取り扱い上のご注意
- 装置を正しく動作させるために - ..... 12

**まえがき ..... 13**

**装置概要 ..... 13**

**付属品の確認 ..... 13**

**各部の名称 ..... 14**
本体前面・内部 ..... 14
本体背面 ..... 15

**設　置 ..... 16**
ラックへの取り付け ..... 16
取り付け部品の確認 ..... 17
必要な工具 ..... 17
取り付け手順 ..... 17
取り外し手順 ..... 21

**CPUブレードの取り付け ..... 22**
増設スロットの確認 ..... 22
N8400-023の場合 ..... 22
N8400-024の場合 ..... 22
取り付け手順 ..... 23
取り外し手順 ..... 27

**インテリジェントスイッチの取り付け ..... 29**
取り付け前の確認 ..... 29
搭載スロットの確認 ..... 29
取り付け手順 ..... 30
取り外し手順 ..... 32

**ケーブルの接続 ..... 33**
コンソール
（キーボード・ビデオモニタ・マウス） ... 33
ICMB ..... 34
電源 ..... 35

**電源のON/OFF ..... 36**

**電源ユニット ..... 37**
搭載スロットの確認 ..... 37
取り付け手順 ..... 37
取り外し手順 ..... 40

**廃　棄 ..... 42**

**第三者への譲渡について ..... 42**

**本書の再購入について ..... 42**

**仕　様 ..... 42**


**ご注意**

（1）　本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
（2）　本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
（3）　弊社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。
（4）　本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
（5）　運用した結果の影響については（4）項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

© NEC Corporation 2004, 2005

この手引きは、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。「使用上のご注意」を必ずお読みください。本製品の移設の際は必ず本書も一緒にしてください。

# 使用上のご注意　- 必ずお読みください -

本製品を安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。

## 安全にかかわる表示について

本製品を安全にお使いいただくために、この手引きの指示に従って操作してください。
この手引きには装置のどこが危険か、どのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。また、装置内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。
手引きおよび警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として、「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

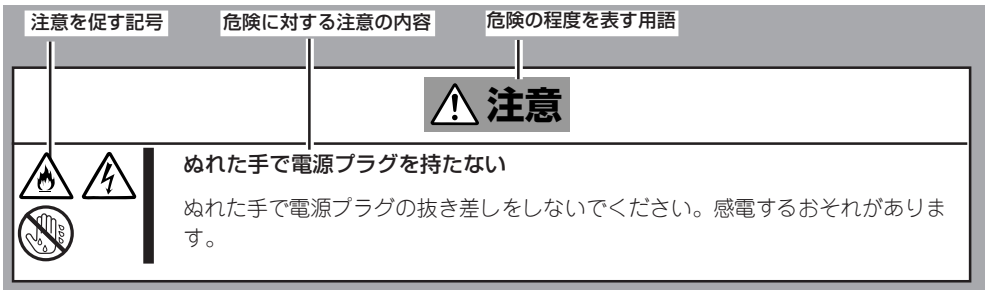
**⚠警告**　**人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。**

**⚠注意**　**火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあることを示します。**

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

| | | | |
|---|---|---|---|
| △ | **注意の喚起** | この記号は危険が発生するおそれがあることを表します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。 | （例） <br>（感電注意） |
| ⃠ | **行為の禁止** | この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。 | （例） <br>（分解禁止） |
| ● | **行為の強制** | この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。 | （例） <br>（プラグを抜け） |

**（本書での表示例）**



# 本書および警告ラベルで使用する記号とその内容

## 注意の喚起

| | | | |
|---|---|---|---|
| | 感電のおそれがあることを示します。 | | 爆発や破裂による傷害を負うおそれがあることを示します。 |
| | 指などがはさまれるおそれがあることを示します。 | | 発煙または発火のおそれがあることを示します。 |
| | 高温による傷害を負うおそれがあることを示します。 | | 特定しない一般的な注意・警告を示します。 |

## 行為の禁止

| | | | |
|---|---|---|---|
| | 本装置を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。 | | 水や液体のかかる場所で使用しないでください。水に濡らすと感電や発火のおそれがあります。 |
| | ぬれた手で触らないでください。感電のおそれがあります。 | | 特定しない一般的な禁止を示します。 |

## 行為の強制

| | | | |
|---|---|---|---|
| | 本装置の電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。 | | 特定しない一般的な使用者の行為を指示します。説明に従った操作をしてください。 |

# 安全上のご注意

安全のために、ここに記載されている注意事項を守ってください。ブレード収納ユニットには、電源ユニットが搭載されています。感電しないように注意してください。また、ラックへの取り付け/取り外しの際には、けがをしないよう十分に注意してください。

## 一般的な注意事項

### ⚠警告

**煙や異臭、異音がしたまま使用しない**

万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちにブレード収納ユニットに搭載されているすべての機器の電源をOFFにした後、ブレード収納ユニットの電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。

**針金や金属片を差し込まない**

ブレード収納ユニットに金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電の危険があります。

**規格以外のラックで使用しない**

ブレード収納ユニットはEIA規格に適合した19型(インチ)ラックに取り付けて使用します。EIA規格に適合していないラックに取り付けて使用しないでください。ブレード収納ユニットに搭載されている機器が正常に動作しなくなるばかりか、けがや周囲の破損の原因となることがあります。ブレード収納ユニットを取り付けることができるラックについては保守サービス会社にお問い合わせください。

**指定以外の場所に設置しない**

ブレード収納ユニットを取り付けるラックを設置環境に適していない場所には設置しないでください。

ブレード収納ユニットに搭載されている機器やラックに取り付けているその他の機器に悪影響をおよぼすばかりでなく、火災やラックの転倒によるけがなどをするおそれがあります。設置場所に関する詳細な説明や耐震工事についてはラックに添付の説明書を参照するか、保守サービス会社にお問い合わせください。

### ⚠注意

**海外で使用しない**

ブレード収納ユニットは、日本国内専用の装置です。海外では使用できません。ブレード収納ユニットを海外で使用すると火災や感電の原因となります。

**装置内に水や異物を入れない**

ブレード収納ユニット内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、ただちにブレード収納ユニットに搭載されているすべての機器の電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。分解しないで販売店または保守サービス会社にご連絡ください。

## ラックの設置・取り扱いに関する注意事項

**⚠ 注意**

**1人で搬送・設置をしない**

ラックの搬送・設置は2人以上で行ってください。ラックが倒れてけがや周囲の破損の原因となります。特に高さのあるラック(44Uラックなど)はスタビライザなどによって固定されていないときは不安定な状態にあります。かならず2人以上でラックを支えながら搬送・設置をしてください。

**荷重が集中してしまうような設置はしない**

ラック、および取り付けたデバイスの重量が一点に集中しないようスタビライザを取り付けるか、複数台のラックを連結して荷重を分散してください。ラックが倒れてけがをするおそれがあります。

**1人で部品の取り付けをしない**

ラック用のドアやトレーなどの部品は2人以上で取り付けてください。部品を落として破損させるばかりでなく、けがをするおそれがあります。

**ラックが不安定な状態でデバイスをラックから引き出さない**

ラックから装置を引き出す際は、必ずラックを固定した状態(スタビライザの設置や耐震工事など)で引き出してください。

**複数台のデバイスをラックから引き出した状態にしない**

複数台のデバイスをラックから引き出すとラックが倒れるおそれがあります。装置は一度に1台ずつ引き出してください。

**定格電源を超える配線をしない**

やけどや火災、装置の損傷を防止するためにラックに電源を供給する電源分岐回路の定格負荷を超えないようにしてください。電気設備の設置や配線に関しては、電源工事を行った業者や管轄の電力会社にお問い合わせください。

## 電源・電源コードに関する注意事項

### ⚠警告

**ぬれた手で電源プラグを持たない**

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

**アース線をガス管につながない**

アース線は絶対にガス管につながないでください。ガス爆発の原因になります。

### ⚠注意

**指定以外のコンセントに差し込まない**

指定された電圧で指定のコンセントをお使いください。指定以外の電源、コンセントを使うと火災や漏電の原因となります。

ブレード収納ユニットに添付されている電源コードはAC100V専用です。AC200Vの電源環境で使用する場合は、弊社が指定する電源コード、ACタップを使用してください。

また、延長コードが必要となるような場所には設置しないでください。ブレード収納ユニットの電源仕様に合っていないコードを使用するとコードが過熱して火災の原因となります。

**たこ足配線にしない**

コンセントに定格以上の電流が流れることによって、過熱して火災の原因となるおそれがあります。

**中途半端に差し込まない**

電源プラグは根元までしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込むと接触不良のため発熱し、火災の原因となることがあります。また差し込み部にほこりがたまり、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。

**指定以外の電源コードを使わない**

ブレード収納ユニットに添付されている電源コード、または弊社が指定する電源コード以外のコードを使わないでください。電源コードを定格以上の電圧で使用したり、電源コードに定格以上の電流が流れると、発熱し、火災の原因となるおそれがあります。

また、電源コードの破損による感電や火災を防止するために次の注意をお守りください。

- コード部分を引っ張らない。
- 電源コードをはさまない。
- 電源コードを折り曲げない。
- 電源コードに薬品類をかけない。
- 電源コードをねじらない。
- 電源コードの上にものを載せない。
- 電源コードを束ねたまま使わない。
- 電源コードを改造・加工・修復しない。
- 電源コードをステープラ等で固定しない。
- 損傷した電源コードを使わない。（損傷した電源コードはすぐ同じ規格の電源コードと取り替えてください。交換に関しては、お買い求めの販売店または保守サービス会社にご連絡ください。）

**添付の電源コードを他の装置や用途に使用しない**

添付の電源コードは本装置に接続し、使用することを目的として設計され、その安全性が確認されているものです。決して他の装置や用途に使用しないでください。火災や感電の原因となるおそれがあります。

## ブレード収納ユニットの設置・移動・保管・接続に関する注意事項

### ⚠注意

**2人以下で持ち上げない**

ブレード収納ユニットにすべての機器を搭載した時の総質量は最大43kgになります。すべての機器を搭載した状態で搬送・設置をするときは3人以上で行ってください。指定以下の人数で持ち上げると腰を痛めるおそれがあります。また、搬送・設置をする場合は、ブレード収納ユニットの底面をしっかりと持ってください。

**指定以外の場所に設置しない**

ブレード収納ユニットを次に示すような場所や本書で指定している場所以外に置かないでください。火災の原因となるおそれがあります。

- ほこりの多い場所。
- 給湯器のそばなど湿気の多い場所。
- 直射日光が当たる場所。
- 不安定な場所。

**腐食性ガスの存在する環境で使用または保管しない**

腐食性ガス(二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど)の存在する環境に設置し、使用しないでください。また、ほこりや空気中に腐食を促進する成分(塩化ナトリウムや硫黄など)や導電性の金属などが含まれている環境へも設置しないでください。装置内部のプリント板が腐食し、故障および発煙・発火の原因となるおそれがあります。もしご使用の環境で上記の疑いがある場合は、販売店または保守サービス会社にご相談ください。

**落下注意**

ブレード収納ユニットをラックに取り付けるまたは取り外す際は、底面をしっかり持ってください。ラック取り付けブラケットには、落下・脱落防止(ストッパ/ロック)機構がないためブレード収納ユニットをラックからすべて引き出すと、ブレード収納ユニットがラックから外れて落下してけがをするおそれがあります。

**引き出した状態にしない**

ブレード収納ユニットを引き出した状態のまま作業をしないでください。ラック取り付けブラケットには落下・脱落防止(ストッパ/ロック)機構がないため作業中にブレード収納ユニットが脱落してけがをするおそれがあります。

**指を挟まない**

ラックへの取り付け・取り外しの際にレールなどで指を挟まないよう十分注意してください。

**指定以外のインタフェースケーブルを使用しない**

インタフェースケーブルは、弊社が指定するものを使用し、接続する装置やコネクタを確認した上で接続してください。指定以外のケーブルを使用したり、接続先を誤ったりすると、ショートにより火災を起こすことがあります。

また、インタフェースケーブルの取り扱いや接続について次の注意をお守りください。

- 破損したケーブルコネクタを使用しない。
- ケーブルを踏まない。
- ケーブルの上にものを載せない。
- ケーブルの接続がゆるんだまま使用しない。
- 破損したケーブルを使用しない。

**通気口をふさがない**

ブレード収納ユニットにある通気口をふさがないでください。ブレード収納ユニットに搭載した機器の内部の温度が上がり、火災の原因となるおそれがあります。

## お手入れ・内蔵機器の取り扱いに関する注意事項

**警告**

**ブレード収納ユニット内部に手を入れない**

ブレード収納ユニットに装置を取り付け/取り外しをする際には、ブレード収納ユニット内に手を入れないでください。感電するおそれがあります。また、ブレード収納ユニットに取り付けられているカバーは装置の取り付けなど必要な場合を除いて取り外さないでください。装置の取り付け/取り外しは1台ずつ行ってください。

**自分で分解・修理・改造はしない**

絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしないでください。ブレード収納ユニットに搭載されている機器が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険があります。

**注意**

**プラグを差し込んだまま取り扱わない**

お手入れをする場合は、ブレード収納ユニットに搭載されているすべての機器の電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源をOFFにしても、電源コードを接続したまま作業するとブレード収納ユニットに搭載されている機器が正常に動作しなくなるばかりか感電や火災の原因となるおそれがあります。

また、電源プラグはときどき抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったままで、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。

**高温注意**

ブレード収納ユニットに搭載された機器が高温になっていることがあります。十分に冷めたことを確認してから取り外してください。

**中途半端に取り付けない**

インタフェースケーブルやブレード収納ユニットに搭載される機器は確実に取り付けてください。中途半端に取り付けると接触不良を起こし、発煙や発火の原因となるおそれがあります。

## 運用中の注意事項

**⚠ 注意**

**雷がなったら触らない**

雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また電源プラグを抜く前に、雷が鳴りだしたら、ケーブル類も含めてブレード収納ユニットには触れないでください。火災や感電の原因となります。

**ペットを近づけない**

ブレード収納ユニットにペットなどの生き物を近づけないでください。排泄物や体毛がブレード収納ユニット内部に入って火災や感電の原因となります。

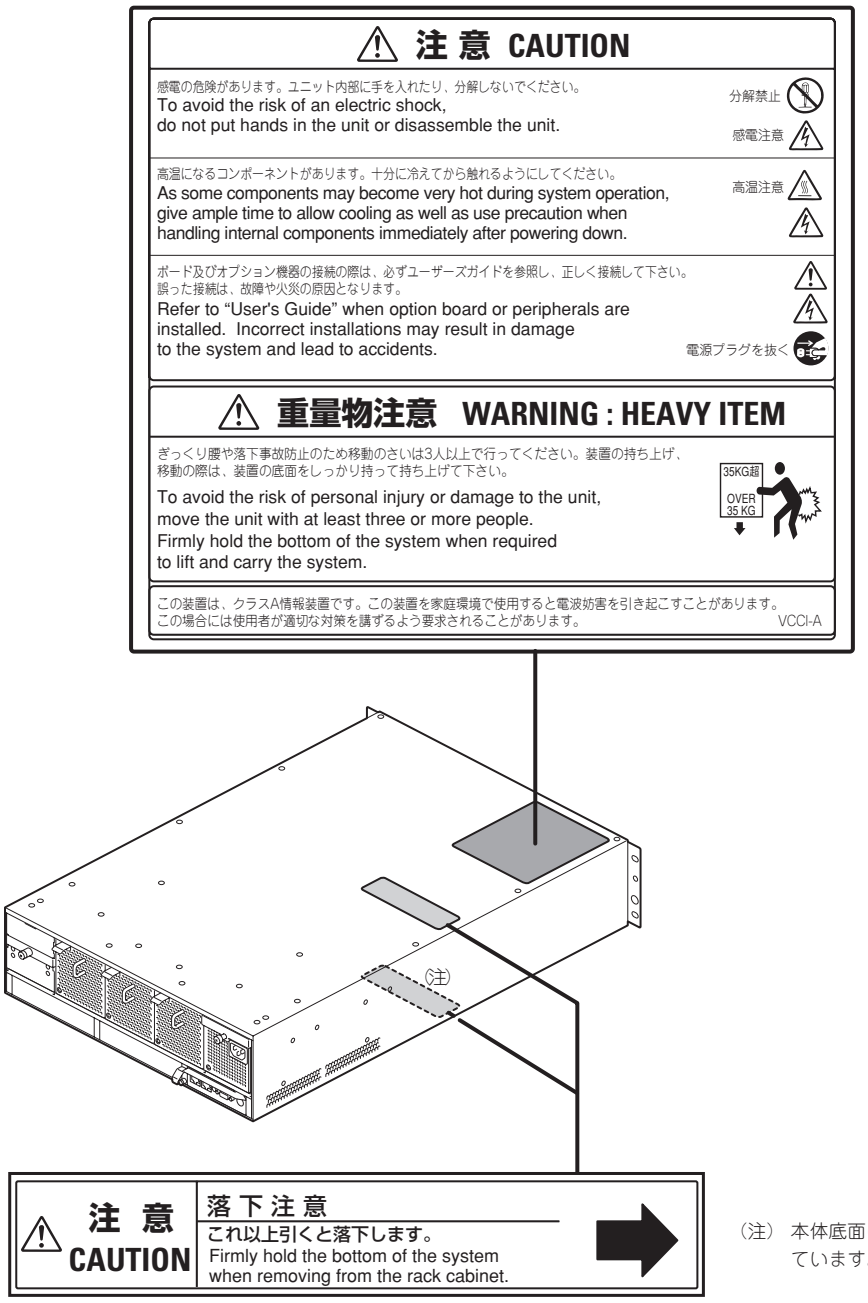
**動作中にブレード収納ユニットをラックから引き出さない**

ブレード収納ユニットに搭載されている機器が動作している間はラックから引き出したり、ラックから取り外したりしないでください。搭載されている機器が正しく動作しなくなるばかりでなく、ラックから外れてけがをするおそれがあります。

# 警告ラベルについて

装置の設置や取り扱い、デバイスの増設の際に、危険性を秘める部品やその周辺には警告ラベルが貼り付けられています。これは本製品の取り扱いの際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです(ラベルをはがしたり、汚したりしないでください)。もしこのラベルがはがれかかっている、汚れているなどして判読できないときは販売店にご連絡ください。

警告ラベル中の記号の意味については、巻頭の「安全に関わる表示について」を参照してください。




(注) 本体底面に貼り付けられています。

# 取り扱い上のご注意　- 装置を正しく動作させるために -

本装置を正しく動作させるために次に示す注意事項をお守りください。これらの注意を無視した取り扱いをすると装置の誤動作や故障の原因となります。

保守サービスについて

本製品の保守に関して専門的な知識を持つ保守員による定期的な診断・保守サービスを用意しています。
本製品をいつまでもよい状態でお使いになるためにも、保守サービス会社と定期保守サービスを契約されることをお勧めします。

- **ブレード収納ユニット**

  ー　本装置を取り付けることができるラックに搭載してください。

  ー　定期的に装置の外観や背面の通風口に付着しているほこりを取り除いてください。定期的な清掃はさまざまな故障を未然に防ぐ効果があります。

  ー　落雷等が原因で瞬間的に電圧が低下することがあります。この対策として無停電電源装置等を使用することをお勧めします。

- **オプションの機器について**

  オプションは弊社の純正品をお使いになることをお勧めします。他社製品には本装置に対応したものもありますが、これらの製品が原因となって起きた故障や破損については保証期間中でも有償修理となります。

# まえがき

この度は、N8405-015 ブレード収納ユニットをお買い上げいただき誠にありがとうございます。
本装置はExpress5800シリーズ用のブレード機器を搭載するための専用のケース（筐体）です。
本装置をご使用になる前に、必ず本書をお読みください。なお、搭載する機器に添付の「ユーザーズガイド」または「スタートアップガイド」も併せて参照してください。

# 装置概要

本装置は、最大で20台(N8400-024のみの構成の場合は10台)のCPUブレードと2台のインテリジェントスイッチ（L2）をわずか3U（134mm）の筐体に収納することにより、最大20台分のサーバ機能とスイッチ機能を本装置1台に集約することができます。

標準装備の電源ユニットに、N8405-014 電源ユニット（オプション）を追加すれば電源を冗長構成にすることもでき、万一電源ユニット（1台）が故障してもシステムを停止することなく運用することが可能になります。
さらに、ICMB（Intelligent Chassis Management Bus）インタフェースの搭載により、リモート保守機能を備えています。

# 付属品の確認

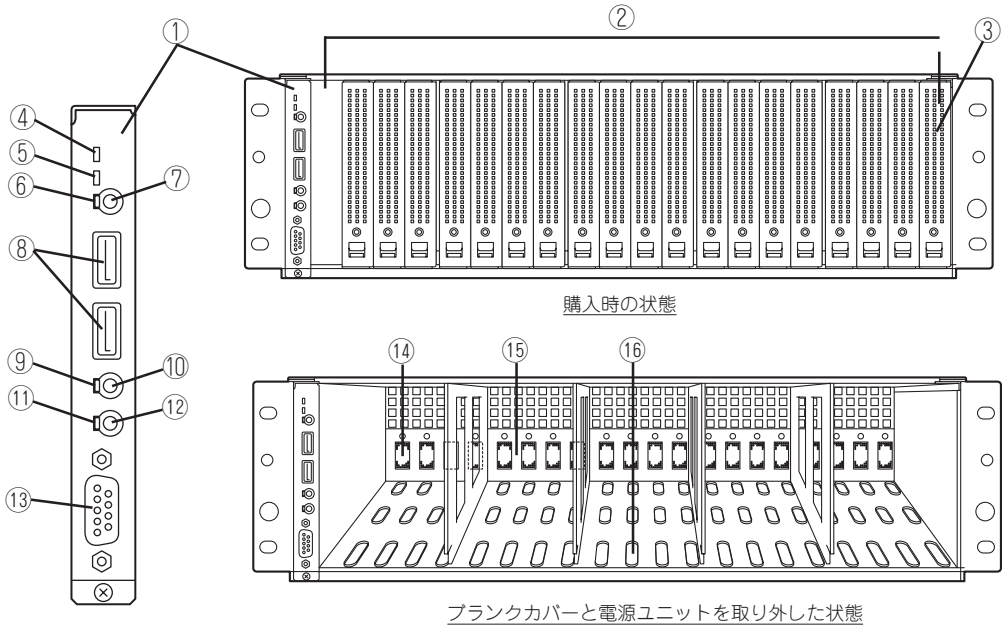
製品が入った梱包箱の中には、本体以外にいろいろな付属品が入っています。添付の構成品表を参照してすべてがそろっていることを確認し、それぞれ点検してください。万一足りないものや損傷しているものがある場合は、販売店に連絡してください。

**重要** **添付品はセットアップをするときやオプションの増設、製品が故障したときに必要となりますので大切に保管してください。**

# 各部の名称

本装置の各部の名称を次に示します。

## 本体前面・内部




購入時の状態

ブランクカバーと電源ユニットを取り外した状態

① **フロントパネル**

② **CPUブレード搭載スロット**

CPUブレード搭載用のスロット(左からスロット1～20)。スロット番号の小さい順に取り付ける。

③ **ブランクカバー**

オプションの機器が搭載されていないスロットを覆うカバー。

④ **POWERランプ(緑色)**

電源ONの時、点灯する。

⑤ **STATUSランプ(緑色/アンバー色)**

正常状態の時、緑色に点灯する。異常状態の時、アンバー色に点灯する。

⑥ **IDランプ(青色)**

装置を識別するためのランプ。IDスイッチまたはソフトウェアのコマンドにより点灯する。ソフトウェアから認識コマンドを受け取った場合は点滅し、IDスイッチを押した場合は、点灯する。

⑦ **IDスイッチ**

IDランプをON/OFFさせるスイッチ。また、スイッチが押されたことをネットワーク上の管理PCに通知する。

⑧ **USBコネクタ**

上からUSB1、USB2。USBインタフェースを持つ機器と接続する。搭載したCPUブレードのUSB選択スイッチにより、選択されたCPUブレードの操作が可能。

⑨ **COMポートAランプ(緑色)**

インテリジェントスイッチ(スロット21)のCOMポートコネクタが接続されている時、点灯する。

⑩ **COMポートAスイッチ**

インテリジェントスイッチ(スロット21)のCOMポートコネクタを接続する時、使用する。

⑪ **COMポートBランプ(緑色)**

インテリジェントスイッチ(スロット22)のCOMポートコネクタが接続されている時、点灯する。

⑫ **COMポートBスイッチ**

インテリジェントスイッチ(スロット22)のCOMポートコネクタを接続する時、使用する。

⑬ **COMポートコネクタ**

管理PCとシリアル接続するときに使用する。

⑭ **BPコネクタ**

取り付けられる機器と接続するコネクタ。

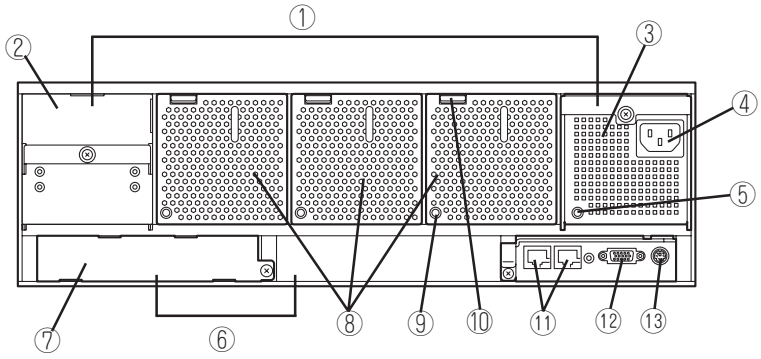
⑮ **バックプレーン(BP)**

取り付けた機器とのインタフェースと電源を共有するボード。

⑯ **ガイドレール**

搭載できるCPUブレードを正しく取り付けるためのガイド。

# 本体背面




① **電源ユニットスロット**

電源ユニットを搭載する2つのスロット。右側がスロット1、左側がスロット2。標準でスロット1に電源ユニットが搭載される。

② **ブランクカバー**

オプションの電源ユニットが搭載されていないスロットを覆うカバー。

③ **電源ユニット**

標準装備の電源ユニット。

④ **ACインレット**

⑤ **電源ステータスランプ(緑色/アンバー色)**

正常状態の場合は緑色に点灯する。異常の場合はアンバー色に点灯する。

⑥ **インテリジェントスイッチ搭載スロット**

インテリジェントスイッチ搭載用のスロット(右からスロット21、スロット22)。スロット番号の小さい順に取り付ける。

⑦ **インテリジェントスイッチブランクカバー**

オプションのインテリジェントスイッチが搭載されていないスロット(スロット22)を覆うカバー。

⑧ **ファンユニット**

右からファンユニット1/2、ファンユニット3/4、ファンユニット5/6。

⑨ **ファンユニットステータスランプ(アンバー色)**

正常状態の場合は消灯する。異常の場合はアンバー色に点灯する。

⑩ **リリースレバー**

ファンユニットを取り外す際にこのレバーを下に押すとロックが外れ、ファンユニットを取り外すことができる。

⑪ **ICMBコネクタ**

Intelligent Chassis Management Bus(ICMB)インタフェースのコネクタ。複数のブレード収納ユニットどおしを接続して、ユニット間での管理をするために使用する。

**LANケーブルやシリアルケーブルなどICMBケーブル以外のケーブルを接続しないでください。**

⑫ **モニタコネクタ**

ディスプレイ装置を接続するコネクタ。搭載した機器のKVM選択スイッチで選択された機器のディスプレイ画像が表示される。

⑬ **キーボード/マウス用コネクタ**

PS/2対応のキーボード/マウスを接続するコネクタ。ただし、接続には、PS2 Yケーブルが必要。

# 設　置

ここで説明している手順に従って設置してください。

## ラックへの取り付け

ブレード収納ユニットをラックに取り付けます(取り外し手順についても説明しています)。ここでは、NEC製のラックまたは他社製ラックへの取り付け手順について説明します。(他社製ラックは、EIA規格に準拠したものでなければいけません。また、ブレード収納ユニットを搭載することができるラックである必要があります。詳しくは保守サービス会社にお問い合わせください。)

**⚠警告**

装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。人が死亡する、または重傷を負うおそれがあります。詳しくは、3ページ以降の説明をご覧ください。

- 規格外のラックで使用しない
- 指定以外の場所で使用しない

**⚠注意**

装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあります。詳しくは、3ページ以降の説明をご覧ください。

- 2人以下で持ち上げない
- 指定以外の場所に設置しない
- 落下注意
- 引き出した状態にしない
- 指を挟まない
- 通風口をふさがない

ラック内部の温度上昇とエアフローについて

複数台の装置を搭載したり、ラックの内部の通気が不十分だったりすると、ラック内部の温度が各装置から発する熱によって上昇し、動作保証温度(10℃～35℃)を超え、誤動作をしてしまうおそれがあります。運用中にラック内部の温度が保証範囲を超えないようにラック内部、および室内のエアフローについて十分な検討と対策をしてください。

## 取り付け部品の確認

以下の部品を用意してください。

- レールブラケット(L)を1個(ブレード収納ユニットに添付)
- レールブラケット(R)を1個(ブレード収納ユニットに添付)
- ネジ(M5ネジ)を10本(ブレード収納ユニットに添付)
- ワッシャ(M5)を10個(ブレード収納ユニットに添付)
- コアナットを2個(ブレード収納ユニットに添付)
- テンプレート(ブレード収納ユニットに添付)

チェック

レールブラケット(L)、(R)は左右で形状が異なります。20ページの図を参照して取り付け向きと場所を確認してください

## 必要な工具

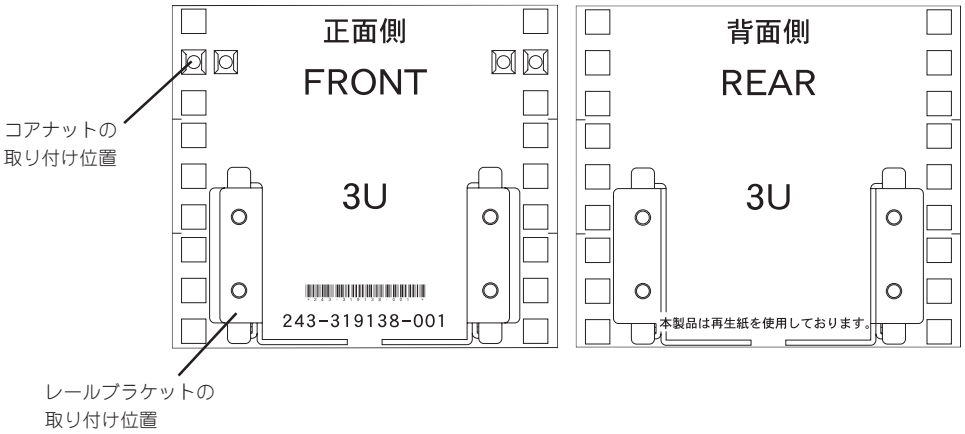
ラックへ取り付けるために必要な工具はプラスドライバとマイナスドライバです。

## 取り付け手順

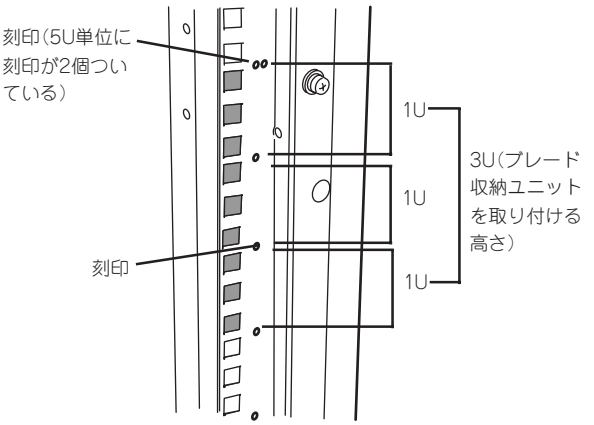
ブレード収納ユニットはNEC製および他社ラックに取り付けることができます。(他社製ラックは、EIA規格に準拠したものでなければいけません。また、ブレード収納ユニットを搭載することができるラックである必要があります。詳しくは保守サービス会社にお問い合わせください。)
次の手順で装置をラックへ取り付けます。

- **取り付け位置の確認**

  添付のテンプレートを使用して装置を取り付ける位置を決め、テンプレートに示された取り付け位置に従ってコアナットを取り付け、レールブラケット(L)/(R)をネジでラックに固定し、ブレード収納ユニットを取り付けます。はじめにブレード収納ユニットおよびレールブラケット、コアナットの取り付け位置を確認します。



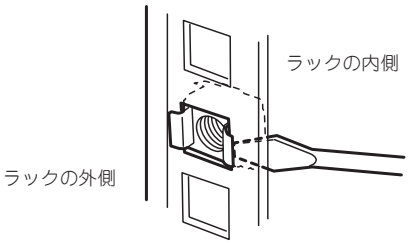
ラックの角穴の隣には、1U単位（ラックでの高さを表す単位）に刻印があります。ブレード収納ユニットは3U（約132mm）の高さがありますので3U分の刻印のある高さの間にブレード収納ユニットを取り付けます。




- **コアナットの取り付け**

「取り付け位置の確認」で確認した場所にコアナットを取り付けます。

コアナットはラックの内側から取り付けます。コアナットは下側のクリップをラックの四角穴に引っかけてからマイナスドライバなどで上側のクリップを穴に差し込みます。




チェック テンプレートで確認した位置にコアナットが取り付けられていることを確認してください。

- **レールブラケットの取り付け**

レールブラケットをラックへ取り付ける前に、レールブラケット（L）とレールブラケット（R）のそれぞれのスリット部に留められているネジ（各4本）をレールブラケットがスライドする程度にゆるめてください。ラックの奥行きに合わせてレールの長さを調節するためにスライドさせる必要があるためです（20ページの図を参照してください）。

次にレールブラケットをラックへ取り付けます。

レールブラケット先端の折り曲がり部分の突起が、ラックのフレームに設けられた穴をラック内側からふさぐように取り付けます。ラックの奥行きに合わせてレールをスライドさせてください。

位置を合わせたら、添付のネジ（M5）でレールブラケットを固定します。ラック前面側は、左右各1本のネジで上側のみ固定します。下側は収納ユニットと共に左右各1本のネジで固定します。背面側は左右各2本のネジで固定します（20ページの図を参照してください）。

レールを固定した後にレールブラケットのゆるめていたネジを締めてください。

チェック レールの前後が平行であることを確認してください。また、左右のレールの取り付け位置が平行であることも確認してください。

- **ブレード収納ユニットの取り付け**

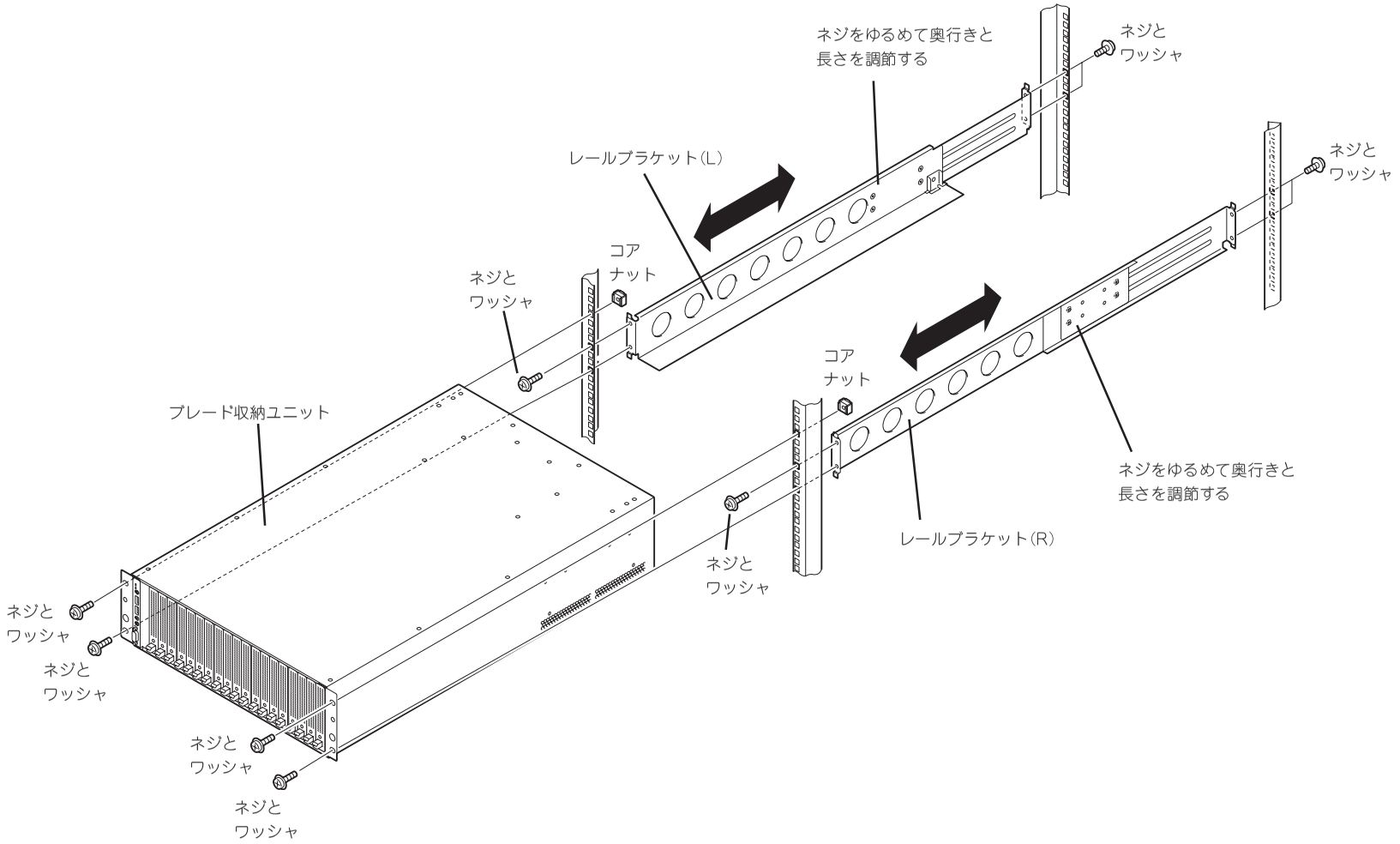
  3人以上でブレード収納ユニットの前面が手前になるようにして持ち、ブレード収納ユニットをレールブラケットのL型のフレーム部分の上にゆっくりと静かに載せます。

  **重要**

  - **装置前後のCPUブレードおよびインテリジェントスイッチのイジェクタレバーやFANボックスの取っ手に手をかけないでください。**
  - **持ち運びの際は本体の底面を持ってください。**

  ブレード収納ユニットが停止するまでラックへ押し込んだ後、添付のネジ(大)でブレード収納ユニットの前面(左右2カ所)を固定します(次ページの図を参照してください)。

  以上でラックへの取り付けは完了です。次ページにラックへの取り付け図を示します。


ネジをゆるめて奥行きと
長さを調節する
ネジと
ワッシャ
レールブラケット(L)
ネジと
ワッシャ
コア
ナット
ネジと
ワッシャ
コア
ナット
ブレード収納ユニット
ネジをゆるめて奥行きと
長さを調節する
レールブラケット(R)
ネジと
ワッシャ
ネジと
ワッシャ
ネジと
ワッシャ
ネジと
ワッシャ
ネジと
ワッシャ

## 取り外し手順

次の手順で装置をラックからブレード収納ユニットを取り外します。

**⚠ 注意**

**装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあります。詳しくは、3ページ以降の説明をご覧ください。**

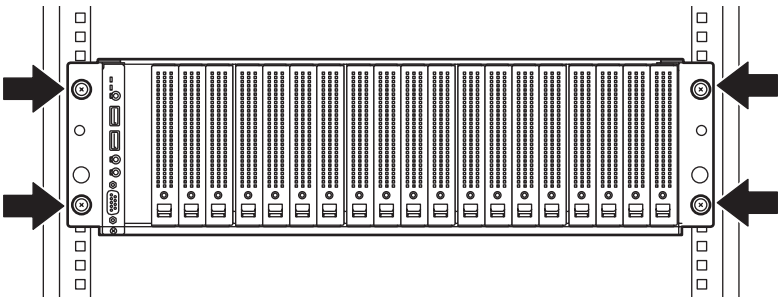
- **2人以下で持ち上げない**
- **指定以外の場所に設置しない**
- **落下注意**
- **引き出した状態にしない**
- **指を挟まない**
- **通風口をふさがない**
- **動作中にブレード収納ユニットラックから引き出さない**

1. ブレード収納ユニットに搭載されているすべての機器のシャットダウン処理をして電源をOFFにする。

   インテリジェントスイッチ(L2)は、収納ユニットのACコードを抜くことで電源をOFFします。

2. ブレード収納ユニットの電源コードを取り外してから、接続しているすべてのインタフェースケーブルをすべて取り外す。

3. ブレード収納ユニットの前面左右を固定しているネジを外す。



4. ブレード収納ユニットをゆっくりと静かにラックから引き出す。

**重要**

- **装置を引き出した状態で、引き出した装置の上部から荷重をかけないでください。装置が落下する恐れがあり、危険です。**
- **ブレード収納ユニットには、ラックからの引き出し過ぎを制限するストッパ機構やロック機構がありません。ラックから引き出す際は、ブレード収納ユニットの底面をしっかりと持って、ユニットを落とさないよう注意しながら取り出してください。**

5. 本体の左右底面をしっかりと持って取り外し、じょうぶで平らな机の上に置く。

**重要**

**本体を引き出したまま放置しないでください。必ずラックから取り外してください。**

ラックの機構部品も取り外す場合は、「取り付け手順」を参照して取り外してください。

# CPUブレードの取り付け

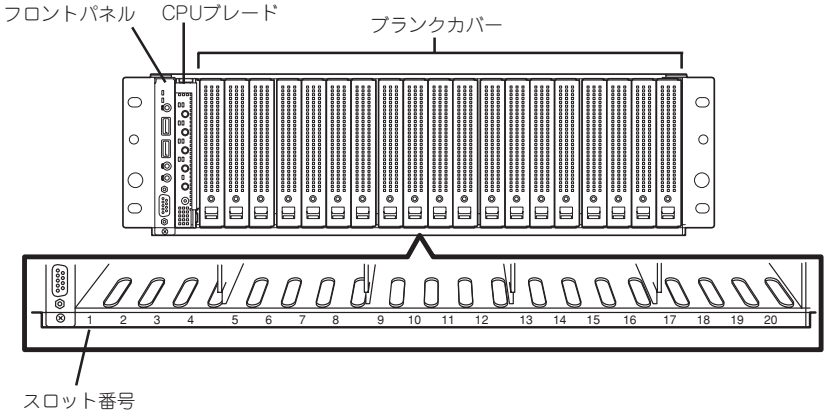
オプションのCPUブレードをブレード収納ユニット(前面)に搭載するための取り付け手順を示します。各機器を取り付ける前に起動や運用に必要となる装置や設定をすませてください。詳しい説明については、各機器に添付の説明書を参照してください。

## 増設スロットの確認

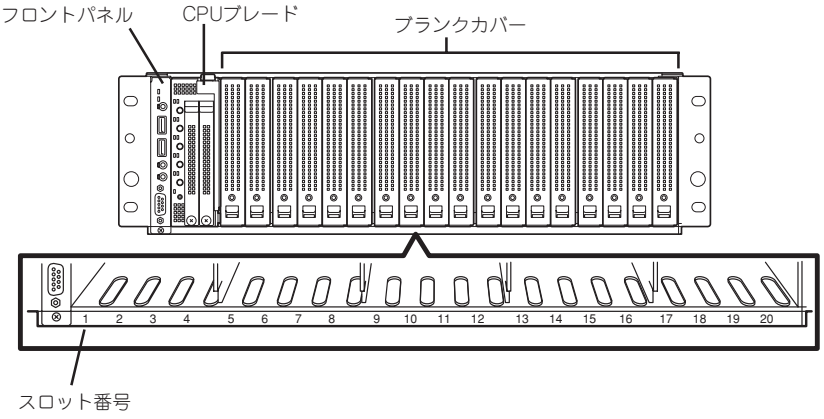
オプションのブレード収納ユニットの増設スロットの取り付け位置を確認してください。

CPUブレードは、スロット1～スロット20に取り付けます。
ただし、N8400-024はスロット4、8、12、16、20には実装できません。
一番左側がスロット1で一番右側のスロット20まで番号順に並んでいます。
取り付けはスロット番号の小さい順(スロット1からスロット20)に取り付けてください。

### N8400-023の場合




### N8400-024の場合



## 取り付け手順

CPUブレードを取り付けます。CPUブレードはブレード収納ユニットの電源がONの状態(他のスロットの機器が動作している状態)でも取り付けることができます。ここでは取り付けの一例を示します。他のスロットへも同様の手順で取り付けられます。

**警告**

装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。人が死亡するまたは重傷を負うおそれがあります。詳しくは、3ページ以降の説明をご覧ください。

- ブレード収納ユニット内部に手を入れない

**注意**

装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあります。詳しくは、3ページ以降の説明をご覧ください。

- 指定以外の場所で使用しない

1. 「搭載スロットの確認」を参照して、取り付けるスロットを確認する。

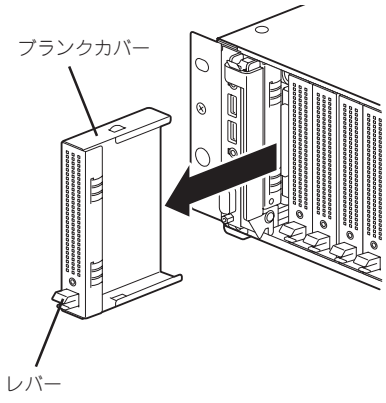
   ここでは、スロット2にCPUブレードを増設する例を示します。

2. 取り付けるスロットにブランクカバーが取り付けられている場合は、ブランクカバーを取り外す。

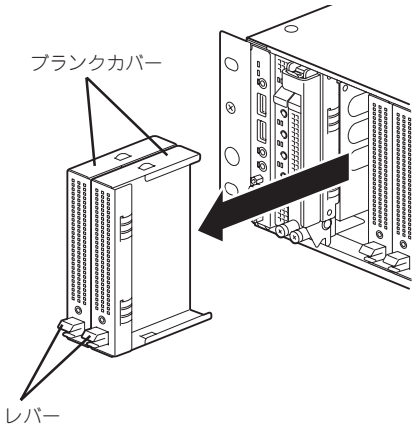
**重要**

- 取り外したブランクカバーは大切に保管しておいてください。
- 取り付けるスロット以外のブランクカバーを取り外さないでください。
- N8400-024はスロット4、8、12、16、20には実装できません。

<N8400-23の場合>




<N8400-24の場合>

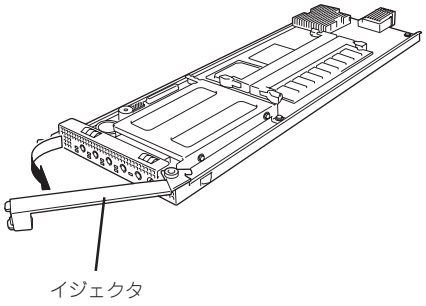


3. CPUブレードをほこりのない、丈夫で平らな机の上に静かに置き、ロックを解除してイジェクタを開ける状態にする。

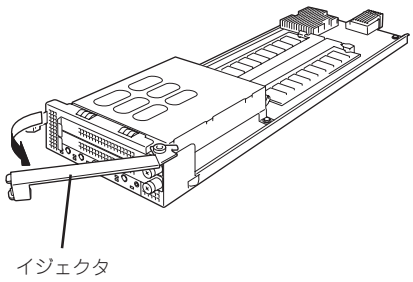
**重要**

- **本体にはほこりや水気、振動に弱い電子部品やハードディスクドライブが搭載されています。取り扱いには十分注意してください。**
- **ロック部は、薄い金属の板でできています。変形を防止するため優しく操作してください。**

＜N8400-23の場合＞




＜N8400-24の場合＞

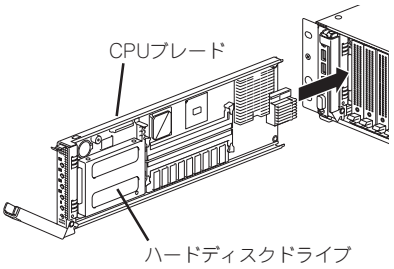



4. CPUブレード内のハードディスクドライブが右図のように右側に見える状態でCPUブレードの上下をしっかりと持ち、ブレード収納ユニットのCPUブレード搭載スロットにゆっくりと挿入する。

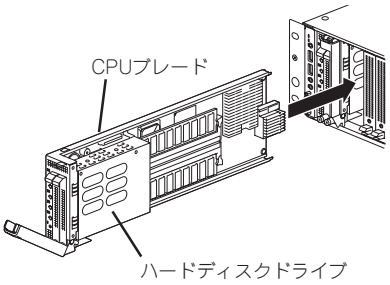
**重要**

**イジェクタを持たないでください。イジェクタが外れて装置が落下したり、イジェクタが曲がって装置が破損してしまったりするおそれがあります。**

＜N8400-23の場合＞

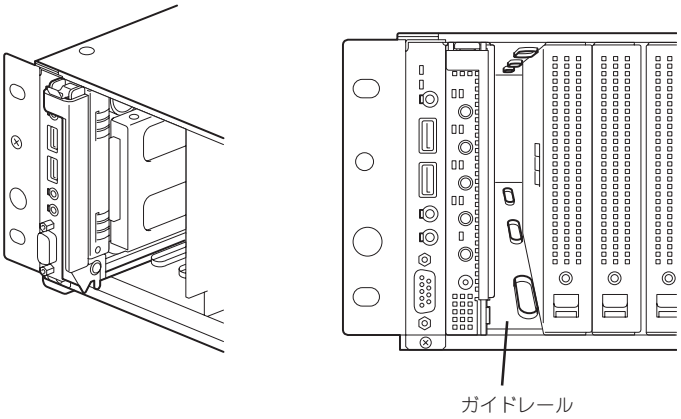



＜N8400-24の場合＞

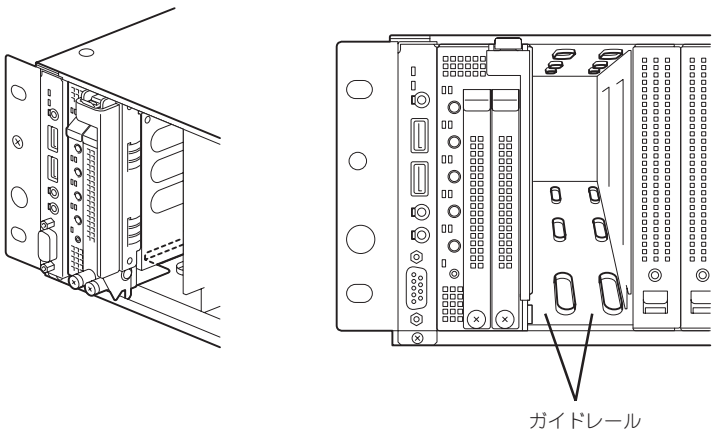


5. 本体のフレームにある溝をブレード収納ユニットのガイドレールに合わせてゆっくりとていねいにブレード収納ユニットに半分(約20cm)ほど差し込む。

＜N8400-23の場合＞




＜N8400-24の場合＞

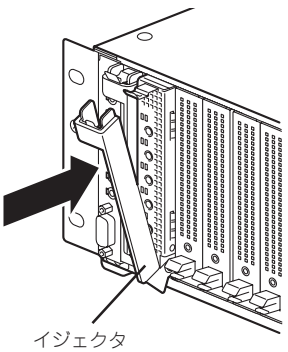



6. イジェクタを完全に開いた状態にして、本体前面のフレーム部分を指で押し、ブレード収納ユニットの奥まで本体をゆっくりとていねいに差し込む。

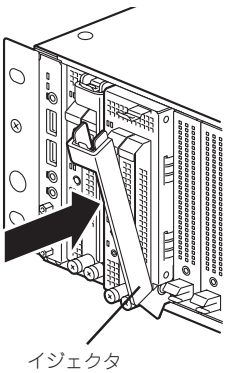
ヒント

CPUブレード前面をゆっくりとていねいに押し、ブレード収納ユニットの奥まで差し込まれるとイジェクタが少し閉じます。そこまでゆっくりと押してください。

＜N8400-23の場合＞



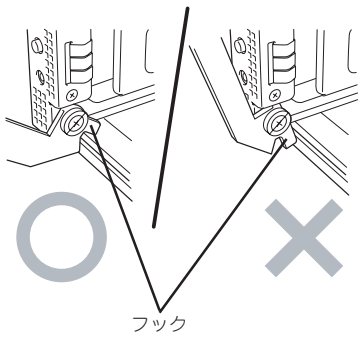

＜N8400-24の場合＞



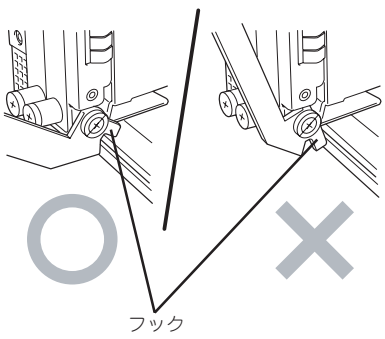
チェック

- イジェクタのフック部分が下図のようにブレード収納ユニットのフレームに正しく引っかかっている状態まで差し込まれていることを確認してください。

<N8400-23の場合>




<N8400-24の場合>



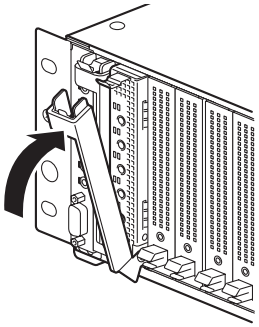

- ロックが確実にかかっているかを、必ず確認してください。

7. イジェクタをゆっくりと閉じる。

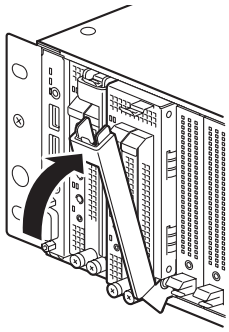
CPUブレードのBPコネクタがブレード収納ユニットのBPコネクタに接続されます。

イジェクタをうまく閉じることができない場合は、前の「チェック」を参照してフック部分の状態を確認してください。正しく引っかかっていない状態でイジェクタを閉じるとイジェクタやブレード収納ユニットを破損するおそれがあります。

<N8400-23の場合>



<N8400-24の場合>



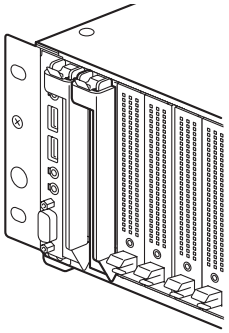
8. イジェクタをロックで固定してブレード収納ユニットに固定する。

以上で完了です。

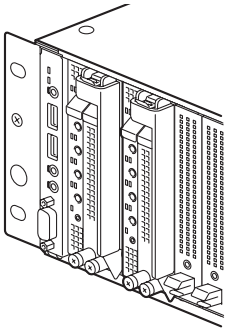
チェック

イジェクタレバーの突起がロック部の溝にきちんとはまっていることを確認してください。

<N8400-23の場合>



<N8400-24の場合>



## 取り外し手順

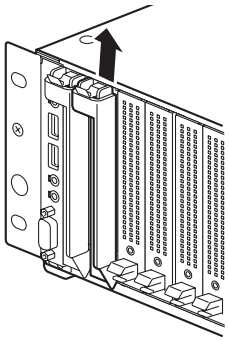
CPUブレードの取り外しは、次のとおりです。

1. OSのシャットダウン処理を行うか、POWERスイッチを押して本体の電源をOFFにする。
2. CPUブレードを固定しているイジェクタのロックを解除する。
   ロックを軽く押し上げ、ロックを解除して下さい。

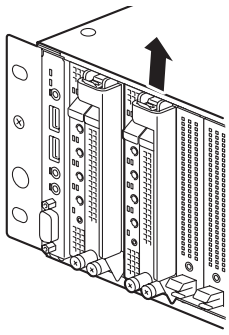
   **重要**

   **ロック部は、薄い金属の板でできています。変形を防止するため優しく操作してください。**

<N8400-23の場合>



<N8400-24の場合>

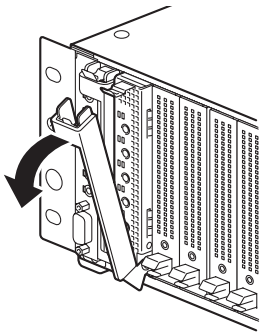


3. イジェクタを開く

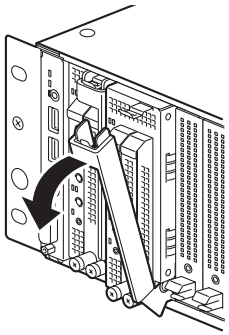
   **チェック**

   イジェクタは止まるまで完全に開いてください。

<N8400-23の場合>



<N8400-24の場合>

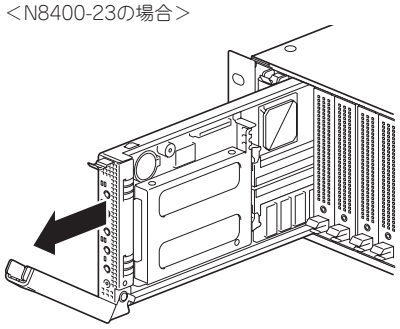


4. イジェクタを持ってCPUブレードのフレームの上下を手で持てるくらい(約10cm)までブレード収納ユニットから引き出す。

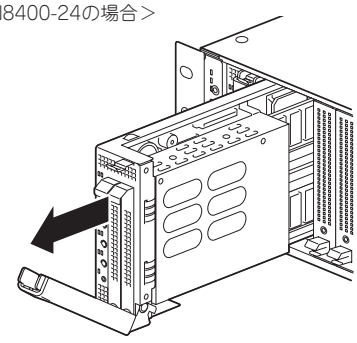
**重要**

**イジェクタ部分を持って取り外さないでください。イジェクタが外れて装置が落下したり、イジェクタが曲がって装置が破損してしまったりするおそれがあります。**

<N8400-23の場合>



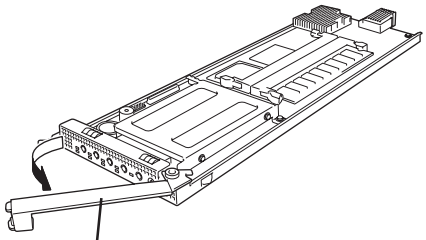
<N8400-24の場合>



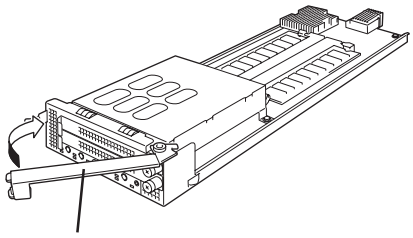
5. 本体フレームの上下をしっかりと持って、ブレード収納ユニットから取り出す。

6. 本体をほこりのない、丈夫で平らな机の上に静かに置き、イジェクタを閉じてロックで固定する。

<N8400-23の場合>



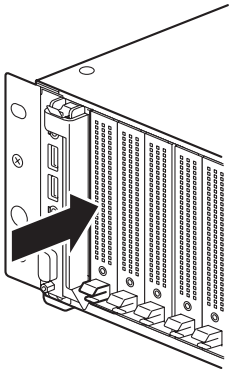

<N8400-24の場合>



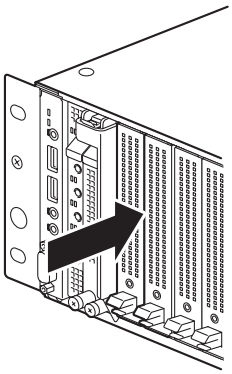

7. 本装置を取り外したまま運用する場合は、ブランクカバーを取り付ける。

以上で完了です。

<N8400-23の場合>



<N8400-24の場合>



# インテリジェントスイッチの取り付け

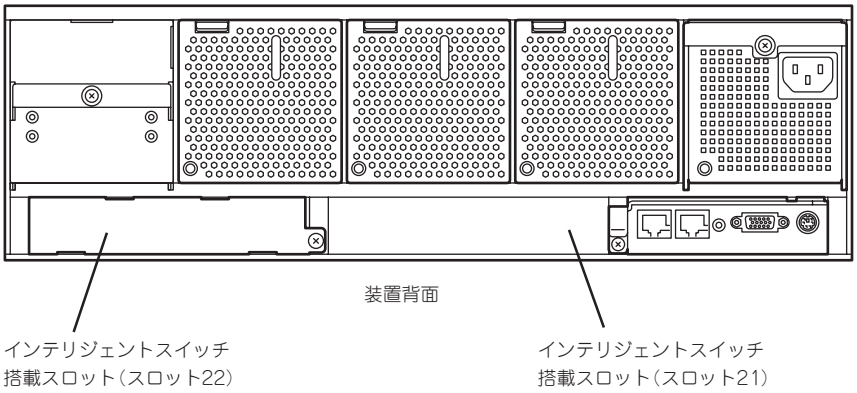
オプションのインテリジェントスイッチをブレード収納ユニット(背面)に搭載するための取り付け手順を示します。

## 取り付け前の確認

インテリジェントスイッチを取り付ける前にCPUブレードの実装および設定をすませてください。詳しい説明については、CPUブレードおよびインテリジェントスイッチに添付の説明書を参照してください。

## 搭載スロットの確認

搭載スロットを下図に示します。スロット番号は右からスロット21、スロット22です。




本体標準装備のLAN1/LAN2はそれぞれスロット21/22に搭載されたインテリジェントスイッチへ接続されます。
インテリジェントスイッチの設定等については、インテリジェントスイッチ添付のマニュアルを参照してください。

ブレード収納ユニットに搭載できるインテリジェントスイッチの種類については、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

# 取り付け手順

取り付け手順を示します。増設はスロット番号の小さい順です。
ブレード収納ユニットの電源がONの状態（他のスロットの機器が動作している状態）でも取り付けることができます。ここでは取り付けの一例を示します。他のスロットへも同様の手順で取り付けることができます。

**⚠警告**

**装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。人が死亡するまたは重傷を負うおそれがあります。詳しくは、3ページ以降の説明をご覧ください。**

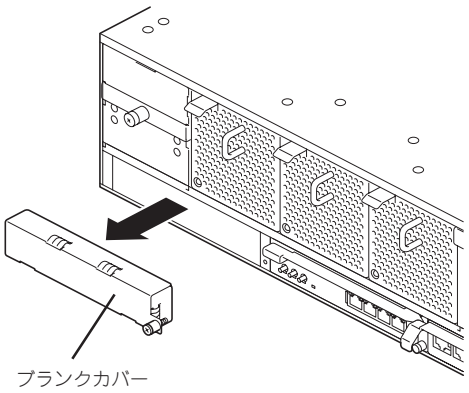
- **ブレード収納ユニット内部に手を入れない**

1. 「搭載スロットの確認」を参照して、取り付けるスロットを確認する。

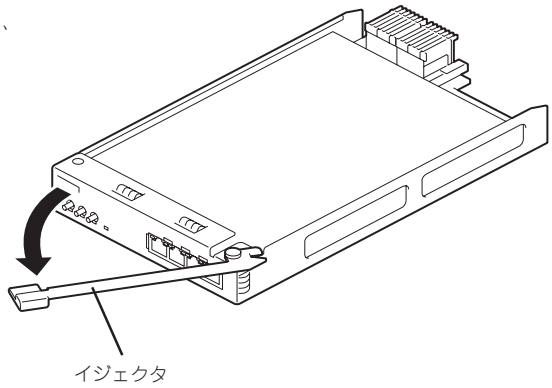
2. 取り付けるスロットにブランクカバーが取り付けられている場合は、前面右下にある固定ネジを外し、ブランクカバーを取り外す。

   **重要**

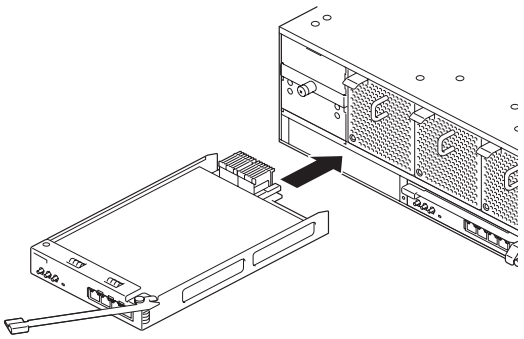
   - **取り外したブランクカバーは大切に保管しておいてください。**
   - **取り付けるスロット以外のブランクカバーを取り外さないでください。**




3. インテリジェントスイッチをほこりのない、丈夫で平らな机の上に静かに置き、イジェクタを開けた状態にする。



4. インテリジェントスイッチの部品面を上にし、イジェクタが右側になるようにして装置底面をしっかりと持ち、ゆっくりとていねいにブレード収納ユニットに半分(約20cm)ほど差し込む。



**重要**

**イジェクタを持たないでください。イジェクタが曲がって装置が破損してしまうおそれがあります。**

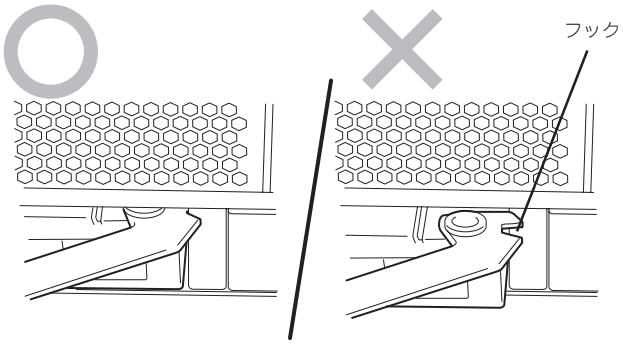
5. イジェクタを完全に開いた状態にして、装置前面のフレーム部分を指で押し、ブレード収納ユニットの奥まで装置をゆっくりとていねいに差し込む。

ヒント

装置前面をゆっくりとていねいに押し、ブレード収納ユニットの奥まで差し込まれるとイジェクタが少し閉じます。そこまでゆっくりと押してください。

チェック

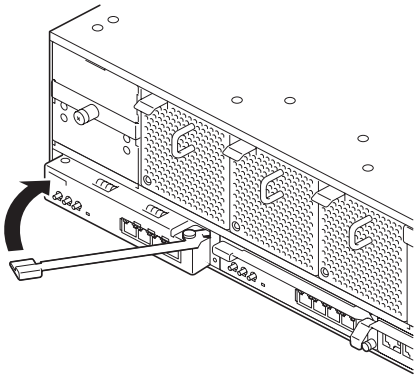
イジェクタのフック部分が下図のようにブレード収納ユニットのフレームに正しく引っかかっている状態まで差し込まれていることを確認してください。




6. イジェクタをゆっくりと閉じる。

インテリジェントスイッチのBPコネクタがブレード収納ユニットのBPコネクタに接続されます。

イジェクタをうまく閉じることができない場合は、前の「チェック」を参照してフック部分の状態を確認してください。正しく引っかかっていない状態でイジェクタを閉じるとイジェクタやブレード収納ユニットを破損するおそれがあります。



以上で完了です。

## 取り外し手順

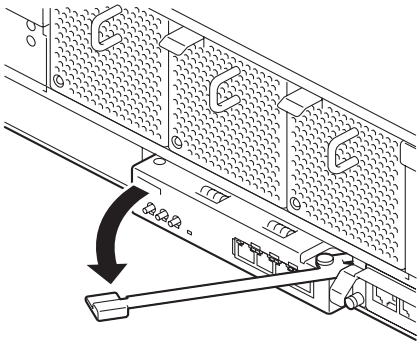
インテリジェントスイッチの取り外しは、次のとおりです。

1. インテリジェントスイッチにインタフェースケーブルが接続されている場合は、すべてのケーブルを取り外す。

2. イジェクタを開く。

   **チェック**

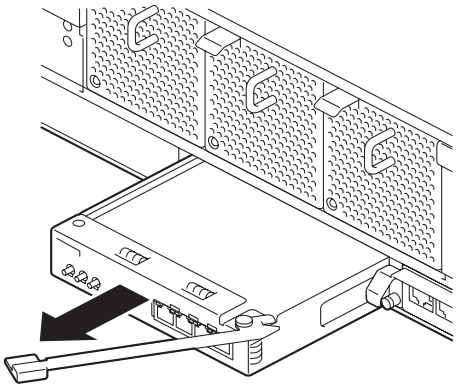
   イジェクタは止まるまで完全に開いてください。



3. イジェクタを持って装置のフレームの左右を手で持てるくらい(約10cm)までブレード収納ユニットから引き出す。

   **重要**

   **イジェクタ部分を持って取り外さないでください。イジェクタが外れて装置を落下させたり、イジェクタが曲がって装置が破損してしまうおそれがあります。**



4. 装置のフレームの左右をしっかりと持って、ブレード収納ユニットから取り出す。

   本装置を取り外したまま運用する場合は、ブランクカバーを取り付けてください。

5. インテリジェントスイッチのイジェクタを閉じる。

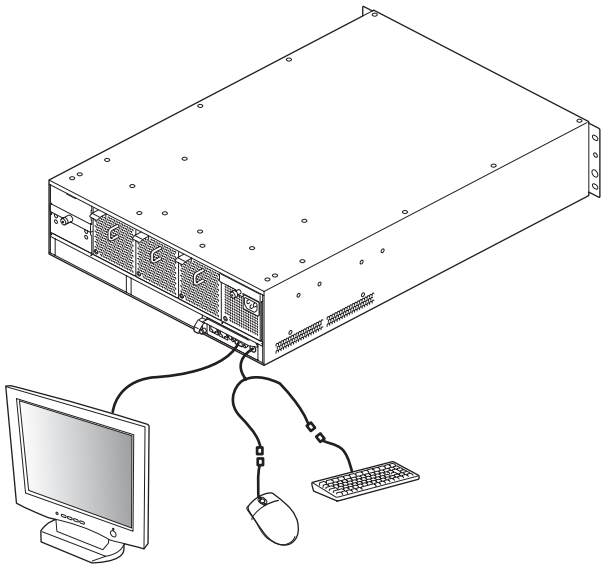
以上で完了です。

# ケーブルの接続

搭載されている機器へのケーブル接続については、それぞれの機器に添付の説明書を参照してください。

## コンソール(キーボード・ビデオモニタ・マウス)

キーボードとマウスを背面のキーボード/マウス用コネクタにPS2 Yケーブルを使用して接続します。ディスプレイ装置のケーブルは背面のモニタコネクタに接続してください。



これらの入出力装置をまとめて「コンソール」と呼びます。ブレード収納ユニットに搭載されたCPUブレードは、ブレード収納ユニットに接続した1つのコンソールを共有して使用します。
それぞれのCPUブレードはKVM選択スイッチ(K: キーボード・V: ビデオモニタ・M: マウス)を持ち、KVM選択スイッチを押したCPUブレード(KVM選択ランプが点灯しているCPUブレード)がコンソールを使用することができます。

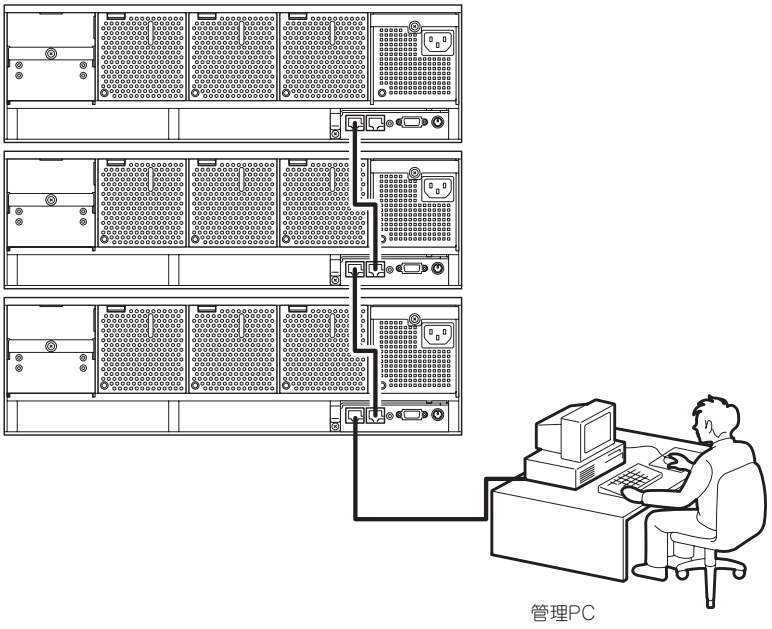
**重要** **コンソールを使った操作をする前に、KVM選択ランプを見て、目的のCPUブレードがコンソールを使用できる状態になっていることを確認してください。**

ブレード収納ユニットに実装されているインテリジェントスイッチとコンソールとを接続することにより、ブレード収納ユニット内の任意のCPUブレードの操作や状態の確認などができます。

# ICMB

複数のブレード収納ユニットやICMBバスを持った機器と接続する場合は、背面にあるICMBコネクタを使ってそれぞれの機器を接続してください。ブレード収納ユニットに割り当てられた筐体IDは装置側面に貼付されている銘板に印字されています。

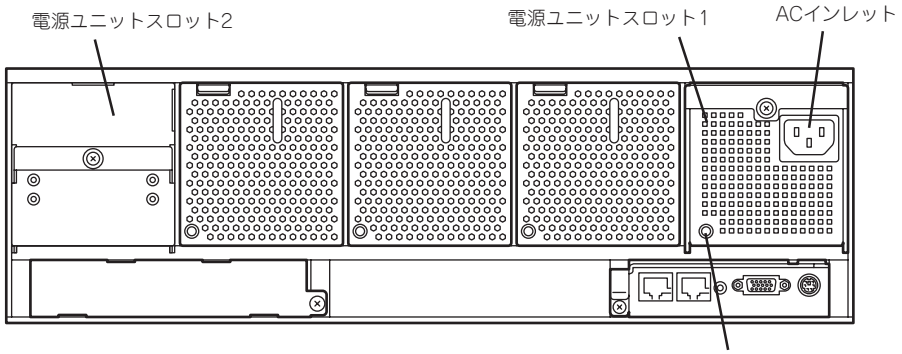
**重要** **ICMBコネクタに、ICMBケーブル以外のケーブル(LANケーブルやシリアルケーブル)を接続しないでください。故障の原因となります。**

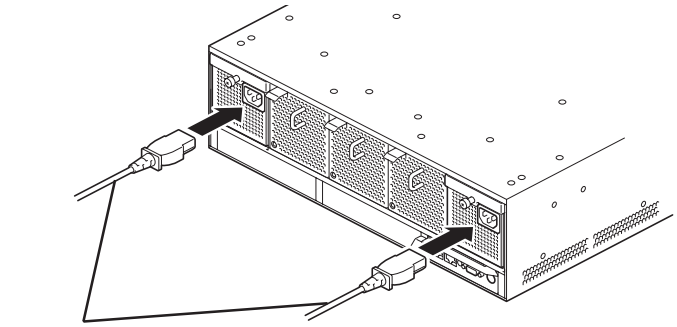


# 電源

電源コードをブレード収納ユニット背面に標準装備の電源ユニット(電源ユニットスロット1)のACインレットに接続します。オプションの電源ユニット(電源ユニットスロット2)も装着する場合は、オプションの電源ユニットのACインレットにも電源コードを接続します。

オプションの電源ユニットの取り付け方法は「電源ユニット」(37ページ)を参照してください。




最後に電源コードをコンセントに接続します。

各電源ユニットはAC電源を受電すると電源STAUSランプ(緑色)が点灯します。

**重要**

- **ブレード収納ユニットに添付されている電源コードはAC100V専用です。AC200Vの電源環境で使用する場合は、弊社が指定する電源コードとACタップを使用してください。**
- **ブレード収納ユニットに添付の電源コードまたは、弊社が指定する電源コードを使用してください。定格に合わない電源コードや安全規格に適合していない電源コードは使用しないでください。**

ブレード収納ユニットの電源コードを無停電電源装置(UPS)に接続する場合は、UPSの背面にあるサービスコンセントに接続します。UPS側のコンセントの位置についてはUPSに添付の説明書を参照してください。
また、UPSからの電源供給と連動(リンク)させるために搭載している機器の設定の変更が必要な場合があります。詳しくは搭載している機器の説明書を参照してください。

# 電源のON/OFF

ブレード収納ユニットは電源コードを接続した時点で本体内が通電状態になります。

**警告**

**装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。人が死亡するまたは重傷を負うおそれがあります。詳しくは、3ページ以降の説明をご覧ください。**

- **ブレード収納ユニット内部に手を入れない**

ブレード収納ユニットに搭載されているCPUブレードの電源のON/OFFは、それぞれのCPUブレード前面にあるPOWERスイッチを使用します。
POWERスイッチで電源をONにすると、ブレード収納ユニットに実装されている電源ユニットからDC電源の供給が始まります。続いてCPUブレードのPOWERランプは、電源がONになったことを示す表示(緑色点灯)に変わります。

POWERスイッチやシャットダウン処理によってブレード収納ユニットの電源のOFF操作をすると、CPUブレードの電源ランプが電源がOFFになったことを示す表示に変わります。

**重要**

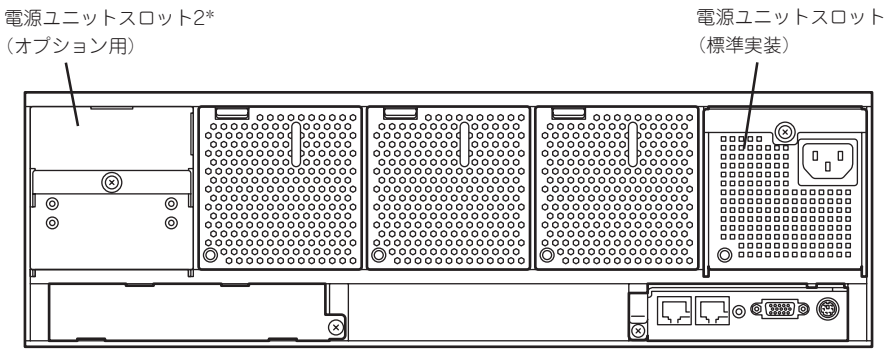
**ブレード収納ユニットに電源が供給されてからホスト機器の電源をONする場合は、インテリジェントスイッチが初期化された後(約1分30秒後)に電源をONしてください。**

# 電源ユニット

電源ユニットは、電源冗長機能を有効にさせたい場合に搭載するオプションです。

## 搭載スロットの確認

搭載スロットを下図に示します。




* 冗長用電源として使用。

電源ユニット1台で20台分（搭載スロット1～20）の機器の電源を供給します。万一の電源ユニットの故障に備えて、冗長用電源としてもう1台搭載することができます。

## 取り付け手順

取り付け手順を示します。
ここでは取り付けの一例を示します。他のスロットへも同様の手順で取り付けられます。

**警告**

**装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。人が死亡するまたは重傷を負うおそれがあります。詳しくは、3ページ以降の説明をご覧ください。**

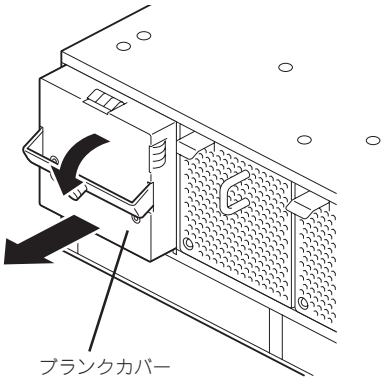
- **ブレード収納ユニット内部に手を入れない**

1. 「搭載スロットの確認」を参照して、取り付けるスロットを確認する。

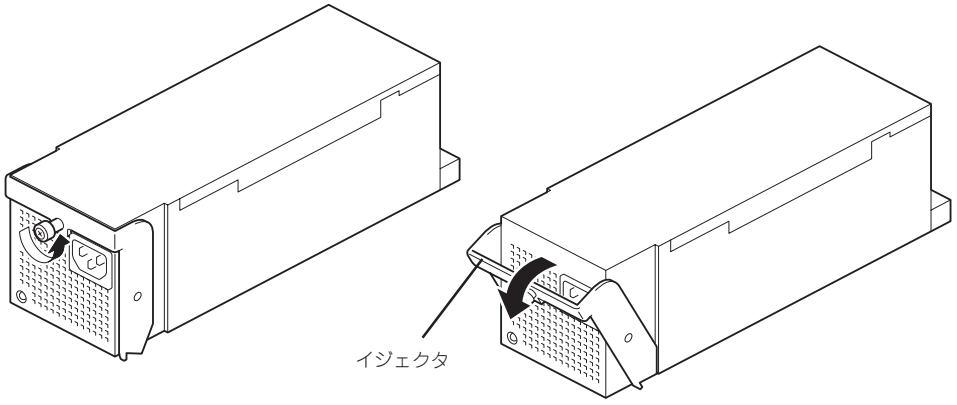
2. 取り付けるスロットからブランクカバーを取り外す。

**重要**

- **取り外したブランクカバーは大切に保管しておいてください。**
- **取り付けるスロット以外のブランクカバーを取り外さないでください。**



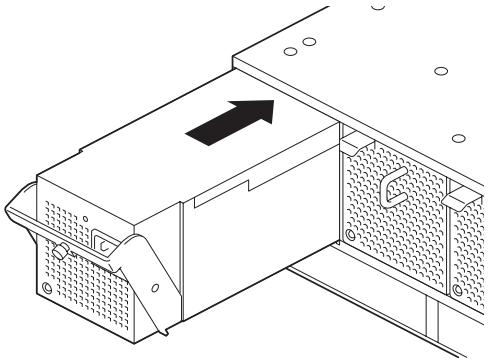

3. 電源ユニットをほこりのない、丈夫で平らな机の上に静かに置き、イジェクタ固定ネジをゆるめてイジェクタを開ける状態にする。




4. 電源ユニットのフレームをしっかりと持ち、電源ユニットをゆっくりとていねいにブレード収納ユニットに半分（約20cm）ほど差し込む。

**重要**

**イジェクタを持たないでください。イジェクタが外れて電源ユニットが落下したり、イジェクタが曲がって電源ユニットが破損するおそれがあります。**



5. イジェクタを完全に開いた状態にして、電源ユニット前面のフレーム部分を指で押し、ブレード収納ユニットの奥まで電源ユニットをゆっくりとていねいに差し込む。

ヒント

電源ユニット前面をゆっくりとていねいに押し、ブレード収納ユニットの奥まで差し込まれるとイジェクタが少し閉じます。そこまでゆっくりと押してください。

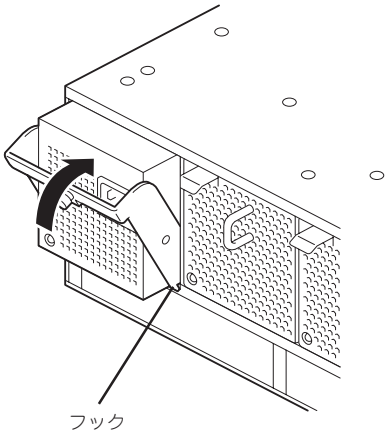
チェック

イジェクタのフック部分が下図のようにブレード収納ユニットのフレームに正しく引っかかっている状態まで差し込まれていることを確認してください。

6. イジェクタをゆっくりと閉じる。

電源ユニットのBPコネクタがブレード収納ユニットのBPコネクタに接続されます。

イジェクタをうまく閉じることができない場合は、フック部分の状態を確認してください。正しく引っかかっていない状態でイジェクタを閉じるとイジェクタやブレード収納ユニットを破損するおそれがあります。




ヒント

ブレード収納ユニットに電源コードが接続された状態の場合は、電源ユニットに電源が供給され、電源STATUSランプが点滅(搭載しているCPUブレードの電源がOFFのとき)または点灯(搭載しているCPUブレードの電源がONのとき)します。

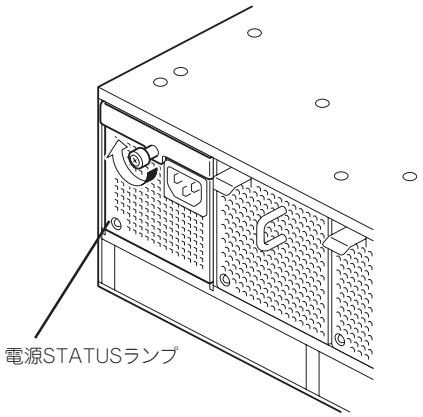
7. イジェクタ固定ネジを締めてブレード収納ユニットに固定する。

搭載している機器の電源をONしたときに機器のSTATUSランプがアンバー色に点滅したりPOST画面で電源に関するエラー表示がないことを確認してください。

エラーが表示されたときは保守サービス会社に連絡してください。

また、電源ユニットSTAUSランプが消灯している場合は、もう一度電源ユニットを取り付け直してください。それでも消灯したままのときは保守サービス会社に連絡してください。

以上で完了です。



## 取り外し手順

電源ユニットの取り外しは次のとおりです。

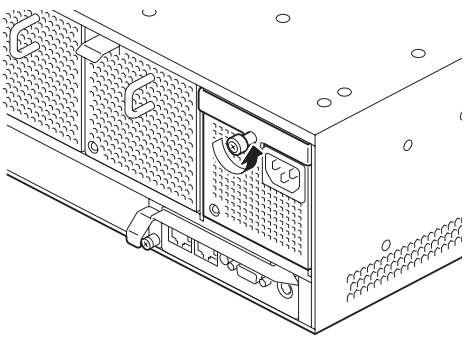
1. 取り外す電源ユニットを確認する。

2. 冗長構成にしていない場合は、該当するスロットに搭載しているすべてのCPUブレードの電源をOFFにする。

   **重要**

   **冗長構成でない電源ユニットスロット1に搭載された電源ユニットを取り外す場合は，収納ユニットに搭載されているすべての機器の電源をOFFにしてください。**

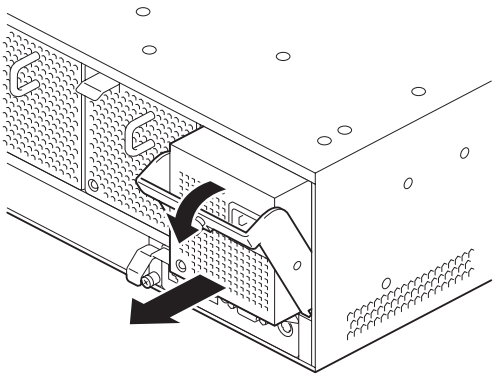
3. 電源ユニットの固定ネジを外す。



4. 電源ユニットのイジェクタを下方向に押してロックを外し、電源ユニットをゆっくり少しだけ（10cm程度）引き出す。

   チェック

   イジェクタは止まるまで完全に開いてください。



5. 電源ユニットのフレームの上下をしっかりと持って、ブレード収納ユニットから取り出す。

   **重要**

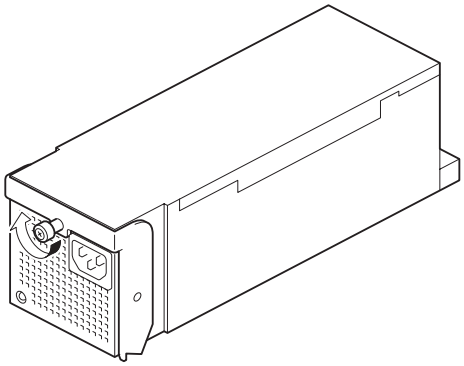
   **イジェクタ部分を持って取り外さないでください。イジェクタが外れて電源ユニットを落下したり、イジェクタが曲がって装置が破損するおそれがあります。**

   チェック

   電源ユニットを取り外したまま運用する場合は、ブランクカバーを取り付けてください。ブランクカバーには取り付け向きがあります。また、取り付けの際は、つまみを押しながらブレード収納ユニットへ差し込んでください。

6. 取り外した電源ユニットのイジェクタを閉じてイジェクタ固定ネジでイジェクタを固定する。

   以上で完了です。



# 廃　棄

本体の廃棄については、各地方自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。

# 第三者への譲渡について

本製品を第三者へ譲渡（または売却）する場合には、本書を一緒にお渡しください。

# 本書の再購入について

もし本書を紛失された場合は、最寄りの販売店またはお買い求めの販売店にご相談ください。ユーザーズガイドは、Express5800シリーズのホームページ「http://nec8.com/」からダウンロードすることができます。

# 仕　様

| 項　目 | | 仕　様 |
|---|---|---|
| スロット | 装置 | 22スロット(うち2スロットはインテリジェントスイッチ専用) |
| | 電源 | 2スロット(スロット1には標準の電源ユニットを搭載済み) |
| 外部インタフェース | ディスプレイ | D-sub 15-pin ×1 |
| | USB | 4-pin コネクタ ×2 |
| | ICMB | 専用コネクタ ×2 |
| | キーボード/マウス | MINI DIN 6-pin（PS/2） ×1 |
| | シリアル | D-sub 9-pin（RS-232C規格準拠） ×1 |
| 外形寸法* | | 483(W) ×716(D) ×129(H)（突起部含む）<br>*　ラック取付ブラケットの寸法を除く |
| 質量 | | 41.5kg(最大構成時)（ラックマウントブラケット含まず） |
| 電源 | | AC 100～240V ±10% · 50-60Hz ±1Hz |
| 消費電力 | | 1050VA / 1040W |
| 環境条件 | 温度 | 10～35℃ |
| | 湿度 | 20～80%(ただし結露なきこと) |

**注　意**

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

### 高調波準用品

本装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 準用品です。

：JIS C 61000-3-2 準用品とは、日本工業規格「電磁両立性－第3-2部：限度値－高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が20A以下の機器）」に準用し、商用電力系統の高調波環境目標レベルを考慮して設計・製造した製品です。

### 電源の瞬時電圧低下対策について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置（UPS）等を使用されることをお勧めします。

### 海外でのご使用について

本装置は、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格等の適用を受けておりません。したがって、本装置を輸出した場合に当該国での輸入通関および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

N8405-015
ブレード収納ユニット
ユーザーズガイド

2004年　10月　　初版
2005年　2月　第2版
日　本　電　気　株　式　会　社
東京都港区芝五丁目7番1号
TEL（03）3454-1111（大代表）

乱丁・落丁はお取り替えします。
© NEC Corporation 2004, 2005
日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

*856-124526-001-01*

本書は再生紙を使用しています。